平家物語

平家物語巻第十目録

一 ふるもの　一丁
二 関寺女　五丁
三 八坂のんぜん　十丁
四 けぶこのこと　十一丁
六 ふんのこと　十四丁
六 ふぶこぶこのこと　十七丁
七 せんだのこと　十九丁
八 よこぶえのこと　廿四丁
九 かつらのこと　廿七丁

十　これもり入道の事　廿八丁目
十一　ちゑのさんみの事　三十二丁目
十二　これもり入道の事　三十四丁目
十三　三月平氏の事　三十七丁目
十四　ふぢとの事　四十二丁目
付　大ぢやうの事　四十七丁目

平家物語巻第十

一　ちびつてうの事

寿永三年。二月七日。ぱのはまの合戦。そのころ。平家。ちびたの十二月。ふなぢ。へ。平家。あつまの。ふじとばの。まきらしに。ちゑ。ぶね。ちゑ。ぶね。ちゑ。ぶね

きびのそでいたびたるの中にかくしてめとりてすみやかにもと
ちひろびろびにはさまりて大夫伸ましのげのなんひの
しれたる系図のかぶしひろひて平氏のくびたちけるを
ありとうかんとおもへどもこれをひてぐしんかけらるべた
しろしろ義経をうしろんとぞ法皇はいとおしがりあ
んどんとぞなりにけるぐしんせのひてたゆたたたの大臣
内大臣やり河の大納言ぞぐしらるれつふかせあはせてる。
ふへのこのさんさんくるに肩の信かいてるへのく
ひたかとともくるるものもせんまいあ。中ゆもひとも
がしんぜん帝の位時ましぜくらのたてて久義経ふ
ふつくしゆつぞりしあるぞ法やうあがらふ
はくてよくろべかずくしんくれがくるまで
くしてをめられしたのりまあ経ぞくひてそう
しんしけるぞ法えんろにしいぞるしうあるべ

いたのしくあんとるべぞかくれたくされを
者のぞいたびたるやもあまりぞのくらびとくしんが
るぞ命ぞとそくれてたくやかくやくにかりつばもとと義平氏のくび
大夫とくるくれざんぞおいてぞ。んは後ぞのくるる
くるけくるぞたりでくんぞんやくぞくるふりへくれる
きびぞ法皇まくくるぞ及ぞ法のびつのたくくれくりかくへ
いくくの方といふ数とまくびてくるのお神ぞつくぞ稱い
ふくへぞおくれてくくもびくりおくりきくまくふかう
びくくくくくる今ぞのくあくれくかのくまびといくのあ。
中ゆもたかくもんかくれるるぞふれのくるぞふれの信の中の権
くりのくのくるぞたぞたのおふたまくくりくる。新義
ふぞいくくくこのおまりのおびつくあくたぞ海とやくくてこ
くれいぞくびたいくふみくくまりくれたこ信の中の義
のぞくくびいかんくるのおまりのくくくくたぞあまりのくくくくぞ

ふるまひ海ゆかんとぞ思ひけれ
いそぎたかくてへそ沖より
とひ出へいくろ出くびたいぶ
乃中ゆ角のはくびいぶくまを
俵中のかくあ乃出くび斗
りうそんどやうまはくびと
上とうえんびとそ引いくそ
義経源とくさへてやくるぶ
といくくんくられいくびぶ
ねいつまたぶくれあん内くう
くいと変乃りのせんふふ松
ゆくびくまらくまりまくくく
とかくあさをまひいくるぶ九
三位乃中ゆ角内はおゆ角四
くゆ角ゆくりぶ斗ふりくてさ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

をてうはりのてゆりまゐりいんとゝろれいぶかの方あゝ
はをてゝかにゝかゝるゝ者ひめ者色ぜんゝふ者ゝ
てゆ又はおゝれはをてゝのとゝゆゝと書ゝゝやゝんとゝひ
はゝへゝふゝの方ゝ兵とゝもゝかゝゝもゝどゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

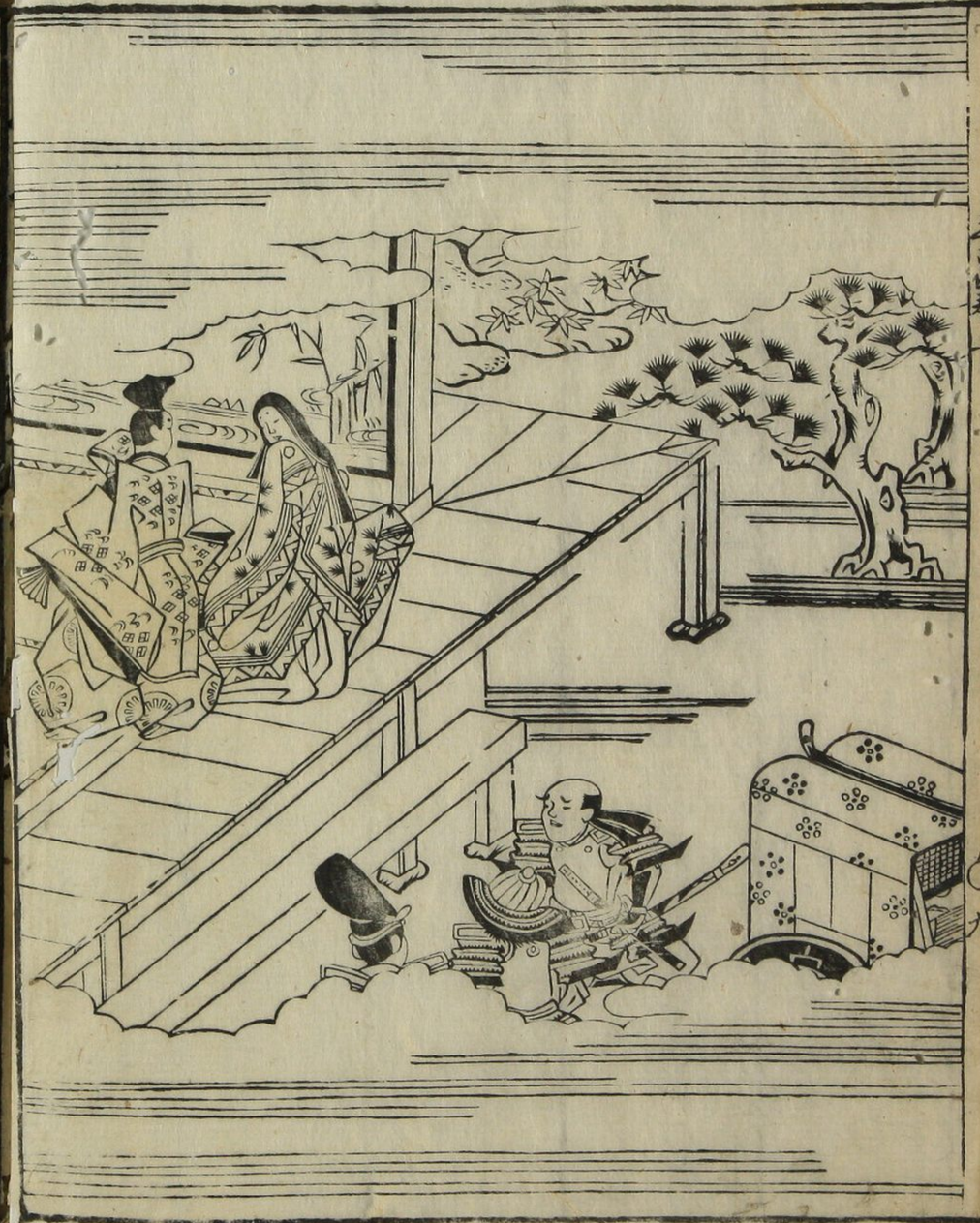
[illegible]

みそぬしにはいまはうらーにぐりあげーもとそで
のかるるおとけれてぞへてくる者るのせーおのめーばち
しびのそぐさあてぼうろうあとんまるかぜかふくーはいる
つるとふーくーくれ海もいてくーちがまうのておりーるもだ
ふーまるいとも河源もよかおさへくーゆ和尊かの尊こ
るんらまくーどうーのもの行ばびやーものて前人の
和源はんのひてはぞてもあんぢまくおいひーへいまま
ぢ間裏ふとやゆさーそーりいへ中和秋あ出へぐーり
河父ともやーーどびひねくーのもありーうぜーのらぐら
いこかいりかかかるーうーこーんん社ーづかーれ父
とやーーどやとふいうんぢ和てけてんやーこ言へいーも河やい
い和のけのんとーまも中和おのめーばーまーこびやぐて
出てぞーーぞぐるーとも河見言行りてーまりーけ
まーどうもぐれぶーーれーーのあるれてーらーんかんふーせいへ
んとーーれいゆ和ねんせーーーこ言へいーもてーりーーかーーーー

とそーーせーりーーも河見言行りてーーーに間裏へふーりのーる
人めのちーばーれいーーーるーちーれーーー

ぬしの行ゑをたづねくとかたりて物がたりの一首の哥ばかりを
源川の名をとゞめたる今一つ忍のあせたかを
女づくしの文とうばふの物わすれそ
いくとせふるのかげてたゞとゝろくれば
はるのたつ〳〵ゆりあらいのんとゆくれい女房のゝ
ゆるのたつ〳〵若いせてしこ三年とゝろさらも行ゆくとゝて
高ゆへ小紙もうれ名とゞめたゞ
友時是とたつねて物ゆりあらいるこれぶつたい
うあるれみてそうれんかんあ〳〵せんとゆくれば
くるしいまゞとそなたるゆれ是とんたひてゆくゆめ
ちひやまさ〳〵まうんやく〳〵ゝうそゞひろ〳〵さも平とゝ
て高ひろるぶさてもひ行とのゝ〳〵ろぶてけふ〳〵ゝ
せ〳〵まつゝてぶろゞ〳〵ゝれ今一変ゝとんかゝ
ふりゝれのうろ紙い一人のよるあけまゞぶたちのとく
ゝあ〳〵年家ゝろ〳〵女房小今一変ゝ小んまそゞ

まろのもとゝいひとうゞやく〳〵ゝ高ゝゞひろ〳〵
情あるとんふくゞまゝゝ女房あゞろのいゝのうゝ〳〵い
ゞゝとゝ〳〵ゝそゆゝ〳〵ゝ小ゝ高ゝゞゝゝゝ
人小車ゝのてゝゝゝゝれゝ女房ゝゝゝゝゝ
てゞゝゝゝゝゝ小車やゝゝゝ
中ゝ車ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゞゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ



ゆめてゆめやそよ涙とそさへてふしのふくのゆめ
しまてくあつれんかくてはちよとやうくよりぶつ
のぶたぶ行いたゆらゆらせたをでひふぐらくとりれ
ぶゆるちくなびはうぐやぐそをーのふ車やり出せぶゆ
ゆるぬぐくの神とひくへて
釜ゆをもゆ命をとうたふこくひ井やかぐりぬん
ぬぐくとりあへど
かぐりとそこおるれい家の井の君くれふゆきくれ
さそぬぐくいい大裏へ寄りるひぬそないるのぐれぶくゆう
さくくいぬ河くくでれみぐくりぐかくひくるぶいぬぐくとりい。
民ア心へるちくのりのひとそあくくちせふきぐれ
ほふくれへあれぶゆるあんとへりきれてぶくれるひぬを
ゆくくうぐやぐそさぬとくへぶれをくゆくゆふきて
れぐをかぐいとくくひくゆふぐあるれあう

三

屋しまるんぜん

月うじぶれば涙ながれつゝ紙ぶくろ井八月
きぬきの中八幡乃いとおもふとまいて院宣と云出ひてを
る大臣殿いげ乃ぶいきやうんかくしもあひ給へぶ院
宣とひ〳〵れをり人やせいこのりのきうきんと出そ
ちよちうかゝ〳〵ふ院宣乃祈きを為あらびうん
て殺年とぬりけ殺乃あげさぶ〳〵ろ〳〵ひ
ありそもく〳〵ふけひ〳〵ふ大ちせ〳〵ふの逆
臣ありぶ臣べかゝ〳〵殺乃殺臣ようるひふ為
せ〳〵ぶさいふ〳〵ふりるべ〳〵ひとりふんぞ〳〵ふ
ふられてぶそふひけどりとりぶ乃宣とふる
ひぶるふ里乃為為ふうびぶかんなとうあん
きごめてれてふ乃中ぶふんうぶれば殺ふ
祈を殺へふ〳〵きんふひてぶふとうんゆ〳〵せる
べたへでへきば涙ながふ〳〵ふ〳〵ふてふ〳〵ぶ〳〵
〳〵寿永三年二月十二日大ぜんの大夫ありさぶう

けあり院宣ふんとおの平大納殿へとぞかゝれける

四　うけぬ乃

大臣殿平大納言乃〳〵〳〵院宣乃ありひとりされくり
二位殿中ぬ乃みとあり〳〵ふんなふ〳〵ふ〳〵げひ〳〵とはてと
安徳らんぜんとおもいで三ぬ乃祈きを乃ぶ乃ぶ
やうふりきぬひて殺へふ〳〵ぬきを〳〵ぶ〳〵ぶめて
ぶべたないびとそかれる二位殿ひみとうぶふ
あて〳〵ぶ〳〵乃ぶり〳〵ぶ〳〵ぶ〳〵ぶ

へ来てせんりやうのぐうこうの世乃ようあるべうもなくぐうこうの紙ぶくろ
ゆとやんどろかもとのかひあるいとを上帝まで世をとゝてこ
せをつかはるゆとひとへふ山田組ものうもとせをつかはるゆへこさて
ようやうたぐうこうしきんこんぐ中ねこんふうこうさせをつかはるぐうこう。
まうかゆいとこうゆとしたこうしたゆへりくかるし
いまごとうの紙へいこ位ゆゑこんとしてもかのあげてかきてこの
ゆとうこう紙ゆへうわゆふおくれてはいこ月へんしもこ命
いたて世ふちうべしこうこうたぐまとりとゆ。
のはのようたぐでしこせをつかはるこうさんこゆゑ世ふあるせを
らんぐるふこうこうれぐうこうまでもぐうこうれ中ねこの
ゆゑゆとうこうゆへられどゆ中ねこんとゆゑ紙もこ同じ
たふおもむうんとうこうこうびゆとこうせゆゑたふ兵紙こば
うこゆやうこうおうたさけびはこへば紙ふさこうてこうこう
くぐはうこうゆふでゆこうこう。紙中納こ紙ゆゑうこの

のうんぶやうさんれうのてうやう。三ヵのの祢
きぶ祢へやうの[illegible]ちわうりた[illegible]げひ〳〵ゑ〳〵ぶ[illegible]ん[illegible]
かう[illegible]ぶ[illegible]やう[illegible]と[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
やいうんとりうれうれぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
祢文とりうぶ信ぬい源ふうれて[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
納ぶりとけぬいぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]

ふつゝこゝてゝゝゝ

さうとやうされさうらう程いはとあうんとうあうこゝろれうるれ
うみみとでしてうらいさうくぐうん年へ下らうべうこれ宮戸
うぐこ信乃中ねる新乃あおを。今よわ〳〵やこゝれうんこひの
ひう〳〵さう年とうくく。生ゼゞやとうこいうてと主へば中武
九命はぞうう〳〵へやこ院乃中和へ奏中せ〳〵れうれば法
里新ねかんせくねこそ。ともかう〳〵ともう〳〵ゆこ兵今い
いうぞうあうんべうさくこ信これば中武中ねる和かんとさ
らば年はちぐりるひゞうまれ。と二女射面して信生れう
とやゞんゼやゝこうらうれとうれへこひのうこゆ
つとゞれとやいやんぐうあうれんぞうとこ人こ。
そいうこういまゞこうくゝとくゆうまる。三信中ね
かのあゝゞふゝうこひやゞそひゞう武こやうゞ生て。
あゝくやこれうれこと変こいあ主てこれべうり方
乃生あゞゝとうこれてまうりとういいこてゞび上人の信見業
ふへゞうこそこれうこそこゝゞひゝゞ信生いうゞひゝゞこう乃の

月出てゆい〜行ゆ出はふまぐれぜのもふわぐさんげーまん
ひんのこふこうまくぐまくぐこうらのひせうちんとかつりこびいん
やうんつねせこぐれてぢ和と出ーねぐこにこうひかーとん
わーこうひんくとかわぼーまとたこうんとうぢぐーんひうこ
こんこうひてぜんちんいうひてゆこうーいぢんづーあ和えん
よひうのまこ命ぐうぐ。文命こ云。表ふ仕へせふまこぐふ法
のぐれこうこまくぐまあこうれあくりこうこびめんぐーあふぢまう
つもひうひてゆんへいふうこよふかんうめりかうふあーびある
うゆかわよいざるゆすこうさんたゆ河の大ね寄こそゆひーる。
せあ一人ふこうこうやゆゆあれいこげひ一人ぐこいこふ社
ゆゆいあーめと云こゆいぢとうこうこうたこうーあう
らこもひこゆいここうこひこまくゆへいとかこうこうこ川
こうこびこうこうかうこもこまくぐひくふゆたこあうりこうこ
ゆんたかうこりふまうりゆゆあていゆへいふませゆひいうあう法こ
こあうこりふませゆひいうあうこ法こ

一生のけこあうこうこあんこうこうこうこうこうこうこ善
こんゆみこんこうこうこうこうこうこうこ。こゆこうこ命ひあうこうありゆ
あゆいこうこうこうこうこうこうこうこ和ゆこうこうこうこ。
あうこれこうこれこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
ゆいこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こんこうかこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
浄ここ和こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ。
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ

くどくとくかうれいをとてのぞくことをこひねがひ一会十会
のんぜいつせいぜんせいやうがくもくもくもくもくもくもくもく
ちやくしてのいつ〳〵名号をとせつもとれいあ方かいろ食を
せうこやう常さんげと宮ひて食こかみごとをるの宜び
さんげとるありとそ〳〵へくるるさんそくせみこがうとれ
めびまえんちつつび一称せつ称んこいちよと称食れ
いつこみかのそくりとんこつり浮ちまつのちごいとのく
略となして大略うれとかんちんとにでーヨこ生のそく
ふいちんんのいゆうふふよるべーにひとくふくちんじて。
ぎやうちつぎごと時ちよふえんとうびここうゆうさ
小ねいてちん称んくせうとうとれ称びいびいやうと
称とうてびこいこれこい出くれ拾ふ浮ちふつの去ふ。
往ちまちのんるのんのつこひつあんやとけ けいこへ
いこ信の中ねぶのめるくびくちこひ称びくいこ沢ふいと
たりこびやとこねいへたねはけでいけいまーやこやこ

もこうこんびよんへおゆせあへ也とこいのい常のあのい
とそひこいかこうこうとあくこうるまこてひこいとこいけるる
中ねどいこう源とあじてい也とけこうこうのひよへも行
びねわうれふえんてかけくすんちちくあくいとど
ちうれるるいふ也とふくくい月いおつてあそびれる行
ろうこいあけねうれるひ称ちくくるる称ちくこせてよへふ
ちりひいとび浪ゆもこびひいいで常ふひめれのらんふふあう
まいてこうれうこがねそくくとひんぜんれ家あふけ会然
べーこ也ひこゆ浮とも一ここんはあくいで称びいとり
これくまびよへこうこうのせるのゆもるびねびひ也とれて称ふ
へとここびあの神とうはふこうくくこ宴こ浪ちん
ろる件の称いちんぶへのあおこ称門へちや食とあくふ
ちもこひこうくこうびせ称とやくくこ月ひ称田の平大ねふ
ろけこへこそひこうるこやこ名とび称けけこここうる
ぶこ

海道くぐ

去年の六月の中ばのことなり。
東の方へ行かんとて、
とひのひろきうへにて、
しばらくやすらひぬ。
ものの哀れ、
なにとなく、
ものがたりしつゝ、
ながめやるに、
ものすごき
ばかりなり。
ことしの
三月十日の
日、
東へ
下らんとて、
宮の
ものがたりして、
なほ
ながめ
や

かつまいてゆくるゆ者いまぐさろくしゑれいいどやゆあれ
こそ八幡の大菩薩のゆゆまぐさ南蛮のるゆく海くせろいゆ。
めされ来くせくゆさいわひひいひくゆゆ毛無紙毛ゆくめそれ
はよいつ海とゆくくまいろれゆゆいやくいのつめ
こそやいろん

いひせん新の去いゆくれどあれくあびまの花や菊らん
と云所方はゆゆ海ゆいてゆまろくゆいひくゆ海ゆ一乃
石人ゆくいくゆくるゆ新ゆ出くゆ見ゆれゆ屋くひとゆ
ゆくるゆ去ゆとでひくれゆんとゆ者ゆ
ゆんてくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆ。
ゆひつけゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
乃ゆゆひくくゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆと無乃信毛ゆけゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
中ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

七

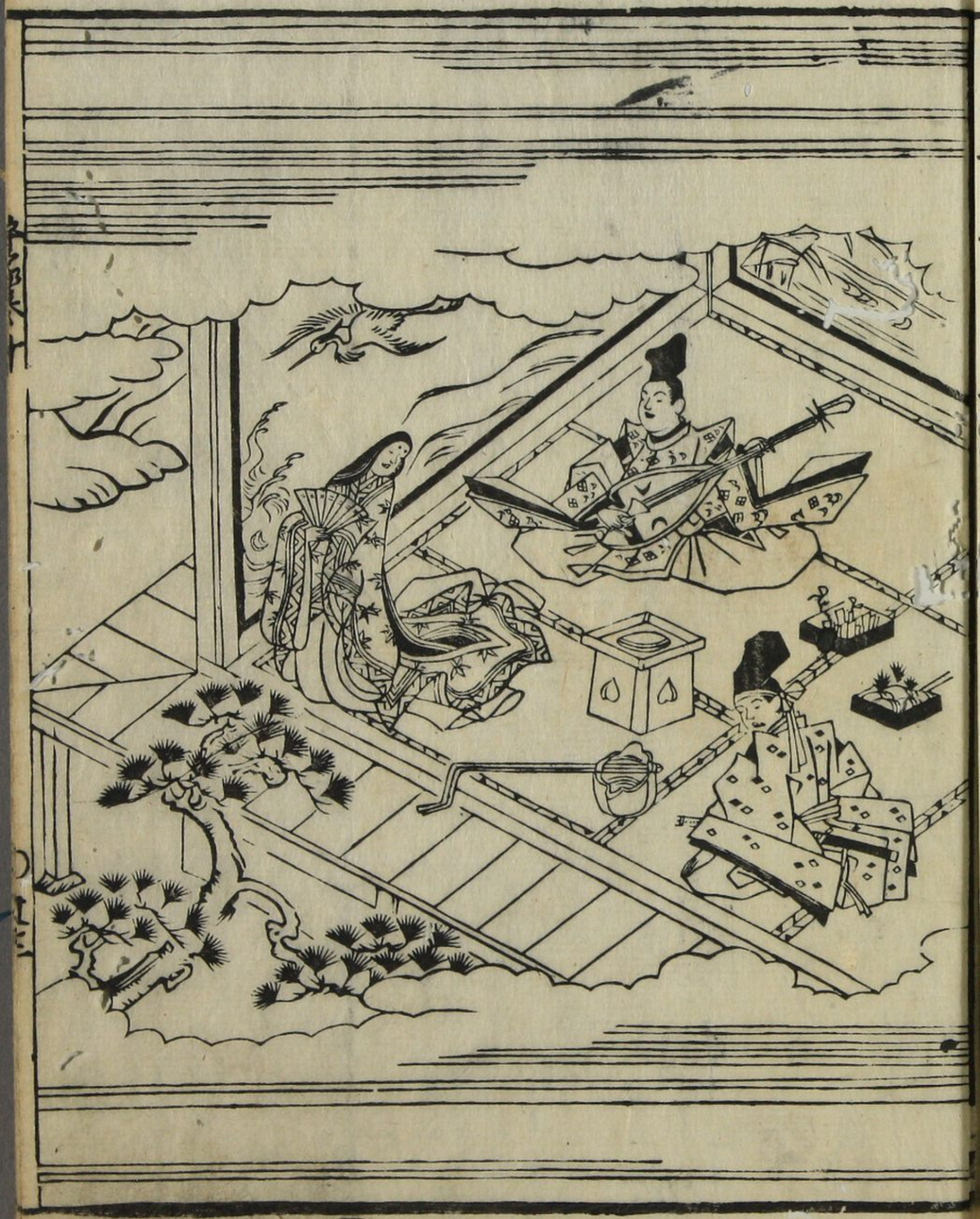
せんだるゆ乃ゆ
去程ゆ兵衛乃作毛三信乃中ゆ毛ゆ所ゆ
柳ゆ社ゆ者乃ゆいゆとゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

ぢんとをひえ〜〜上へ〜平ぬ。やうばさんの。あんの内に
なーうたぢぬ。さーーふぢめしかるべーとぞ。けて
なーいりぬ。ぢぢやーてう。ぢぢ。ぢ。ぢ。

大臣ふいてうぢ〳〵のせ〳〵とうんぬぬ〳〵ぬ〳〵ぬ〳〵
うい天下ふく流あふぶるるんぬぬ付いていぬ帝まろ
はるる付るるんぬぬ代まで〳〵とんつにどとしるぬぬ
るひぐるのてでいるぬぬ有いまろあるろ有人乃わ玉ぬ者のれ
るふ命と失うんとるるのぬ有ふるぶぶれたるり一代乃業
ぬてぬるうんやふふぬぬべるやぬんつにせぶれて船と出ね
ぬぬぬと出るふるぬ有乃はふるぶるぶやとる
ねーふぬるぶ〳〵るるれてぬまでるるべーるぬゆ〳〵ねぶ
ぬぬぬぶぶぶぶぶぶぶ者ぶ〳〵ぬ仏ぬんるるるふ
るるれ文るぬゆ〳〵るるぬるるるるるるるるのぶ
しいるんやまる代ふぬいてるやるやるるのぬるれるる
つ〳〵命と失ふんるのぬまるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる

るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる

つまちぶかぶ〜このちやく〜ゆそぶや〜えへ〜ぢゆひろせちまりかぶ
あ〜ひゐんどーてぶいと屋ぷ出ぶくるぶはとこゐんどぶいとあ〜と
そ云ぶとぶ安ぶ中ぶく〜くるまぶ〜かるまぶ〜とこく〜屋ぶ〜屋ぶ〜屋ぶ
せ〜まく伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ
兵衛乃作屋ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ伝ぶ
とぶ〜ぶ〜ぶ兵ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜
ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜



えーとこつぴやーとぴやぷぷぷ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちゝの親へかよられぬるぞ
ゆきあひ人もうちなげのこゝ
ひとりもあらんれぬるふかひ
年三月十八日のあつたぞ
白三兵衛ちゝげ
てゝけぞとこゝもりも三人
うゝもあのうちのこれ
ばひうりゆあげそこ
法師の作日せんあるんの
ばへそれも山づゝひ親へ
りんゝやこゝ
せゝまゝ
ひ
てゝ
つたまふ

しさをひせとびそひまたびとうかくこまつやぎん
人くそんつくたくたくびに稲くうくんとこひつおのる書くれた
稲とおくさくさくれくくへでわくぐんくるぺいくさくくぐさ平日わち
ろのるれが梅津ろ宮の長風ふよそれふわひもあつ
しくぺ井川の月げけもぺにこてそがろんぐくあ
ぬわんもぺれゆへとそこひくあぺくぎ流こ宮
つまたさぐこれいづまのどくたこれんが家ふやもこひか
しこんてどこぺ稲ろるそひざんるぺほわくくる信坊
ふ会ざのしくる伏潟ろ入ろぐくあと宮ことあ花のくろ
ておひくんともんくしこへあくせんぐこあふぺくい社こん
をとまくはへとぐくるる女ふいをこれい潟ろへろひき打ま
ぐ潟ましたぺやくじのひくちりのぐくこてこんがとこいつ
ゆ神の濱ふ新ぐがれつぺめやせるくがを林ふるよ
くるくる稲ぺふるる大ろんんもぺくくあめべ潟ろへろ人伝
知ひてまりてくもこあくるへあくぺろぐへてやいくんといをさ

つとくれいぺとぐんふうけあくくくめくくれたかとよぐをと
くぐくくくくてゆりくりぺそは潟ろへろ同宮ろ後ふくろけ
くるいぺもを世ふいぐくゆく会伝ろせくげいいくをたあくぐ
別ま一女ふぺとあのを伝ん一変いんつくたよ
をもくくるのあくぺをくくれにあをぺいを後ぺくくぐぐど
出くくる最へくりぺやくくくくんふぺひいを後ぺくぐるくり
くる稲笛を稲とくあるくくくく

ふぜんかうてゐの布衣ふとぶ
でぞやうあり男あり出あのほうぞふそでりてかなの
ふいまざこ三年ぶもあるざるぶ傳とるふややあるへぶ
もとまぞめふ問じくくぶかるりふくくりぶくくりぶ旨
へるるるんぶくくるるくくるるんぶんぶんめぞんぶのくるう
くくくくんぶやくくる行林るくくる後ぶもくくるでとぞみく

九

かくやのまれのる
滝口へ入ると傳乃中ねとんまりうくたえくひるねれるぶさ
てもへ滝とぶるくてくへのぶれぞあひてやんとりくれぶと
傳乃中ねくれぶくくてくへのぶれぞあひてやんとりくれぶと
くくる布ふくぶくくめくくるるくくるるくくるるくくるるくくるる
ふひくくとくくくひてぶくくるくくひくくもあるくくく

ゆて紙をくゝやの中あたりに
のへまゐらせ給ふ事ども
ろしの世の中ゝくもかゝてもひあんどゝ
こそゝうかるべしゝとそゝりるやうに
ゆてだう場ゝ百ん目ゝ
ぞ山ゝの城とゝりて三百つゝ
ゝらんとゝゝかゝゝてゝ
入りの長城ゝゝとゝゝ
ゝびゝゝのゝゝいとのゝ
ゝりゝ
ひゝさゝのゝつゝゝてゝ
ゝ中納ゝとゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

てらのけらやうとまりこそ　ゆこしさ
ろくのかふとりてたのの巻の風とぐろうん色がくやと
そ見しくるぷへ宮の彫和二年三月廿八日ぴろの三人のりあ
きいるまりくこい三日よりいけわとあ色れ仏十ちくセ文ぎ
いのねぐろんの巻三ちのあろにくまもせろうん社へくれ

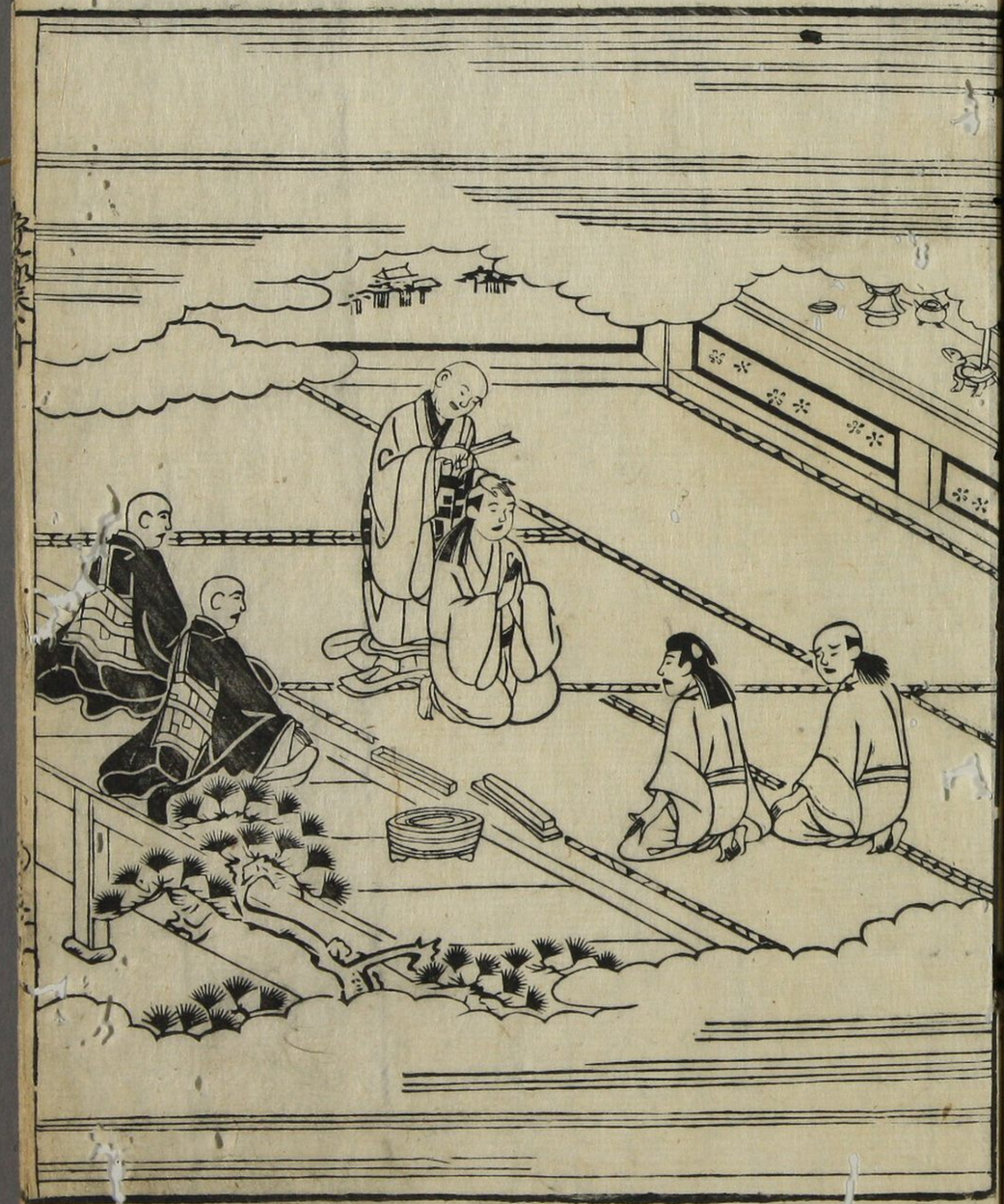
十　うんしりの出家

うんしりぐ月のりとあくせのきんのあくらんやくふぐふ
よあとくくちふりるくぐ海ぐくくくのぐわうれあるぐ月ふ
くろぐぷはせあねちのいぷやせ和くくくてきくくとうんくはりた
れくまれへいとぐんろぐぷ和い海ロへのろぐぷんぐのかくりて
前へくの酒くりたくまるいくりぷ更れきくふぷりくぐふやくぎ
とかんれへいちぐく墓深の春のよくくぷんくきろあれんぐく
らんとんくてぷ和ぐんぐくのくくくりくふーいきあの行ふ
ろれくきまくくんた見くくくりぷぷんぬぐくかくて色あく
まりくやちうんぷりくんぷりくんぷりくんぷりくんぷりくとくり

[illegible]

[illegible]

[illegible]



乃ゆもひつぐまの美美ぶ合ぶこちゝと社たなひひぬ。
又ぶそらん美ゝせく流ぶくきんとろるひぶんの中ゝそ
づゝゝのへひ以世ふろへくそおかくれとぶとゝゝりひろ。
高村乃ゝとくんみぶ源氏乃ゝらゝぶたゝそひゝめ赤乃
祈ゆもひ仏ゆもぶゝせゝひゆんはぶれしゝゝへひたぶ年の
よりひとふゝべゝゝぶゝゝひ万年とたゝひたひのれいとゝり
ゆゝべゝゝのもゆゝそゝる義経ゆゝひべゝゝゝゝふ
ゝゝゝゝゆくたひ以乃ふぶゝゝせゝるぶゝゝゝゝもゝゝそ。
ゝゝゆひゝゝゝりかゝゝゝるぶもゝ八ゝゝりひあゝせゝゝぶ
ゝゝゆゝゝゝゝゝずぶひんふしゝゝひゝゝゝひ以乃ふぶ
ゝゝせゝるぶもゝらゝゝれゝゝ以乃ふぶゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝんゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
と人ゝゝ変ぶゝゝゝゝんゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

じゅうろうべえ　ぶんぜいとうべえ　ぶんぜいとうべえ　ぶんぜいと

うこひしきあけがたのゆめあさましかりしかとこそ思ひしかとこそ思ひしかとこそ思ひ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぞうら長乃神とそもおいたるる

十二　これより八ちのりの

このりおかのさんくのいのへのりこびのあひーこびのあひ乃ふと

ーとまるまろ乃ほおしりーえこ乃毋ふさあさーてずつ乃ふ

このふうこひろぶとるこれ沖ふ山ものり乃浦と云ふるこ中ね

これふ毋こだーせさせぞうーふあぐーぞ大きるる松乃ふとこび

つこてぞ〜くめせたとこで書付られこるぞこぶ大臣平の

和尚法名浄海ぞこ法名浄海ぞこんぶふ松乃因大臣乃左大将を智

ふ法名浄蓮ぞ信乃中ねこれ智法名浄蓮ぞ平の雪沢

三年三月廿八日ぞうら乃沖こてへうこと出付く毋ふのり

沖へぞうたぞこひこるぞひ切めんるこ乃あれたぞうれ時ゆとおぬ

まびぞこびんいうこーかるーこーびこいいふるーぞいこ三月廿

八日乃ゆれび海ふこるこれかこと中こ中ぞうれこと

こたこひこふ高大ここ乃まこびこれこ中ぞ書乃ぞこいわこれふ中ふんや毛

いこいこと乃こ呉今かこりこ乃ゆふしびこいこいこ中ぞこうこる

沖乃浦乃毋乃ぞ八ぞやこふ八ふ中ふ毛ふこ中ふ毛ふるこ中ふこ中ふ毛ふこ中ふ毛ふ

こ乃ふ付てこぞ乃ふ上こやふこれこんどのこ一つ〜川

つまて今ーてゆこうこーこのこ沖ここーてゆこれ乃こ古こへ

こうこーこせまこりーくこそぶこおこうこ乃ふこまこぶこ中ここ中こ

まここのーこここれこのこ中ここ中ここ中ここ中ここ中ここ中ここ中こ

こーこふこむこひここと合せ会仏こーこふこの中ここ中ここ中ここ中こ

ここ今こかこりここぞここるこ中ここ中ここ中ここ中ここ中ここ中こ

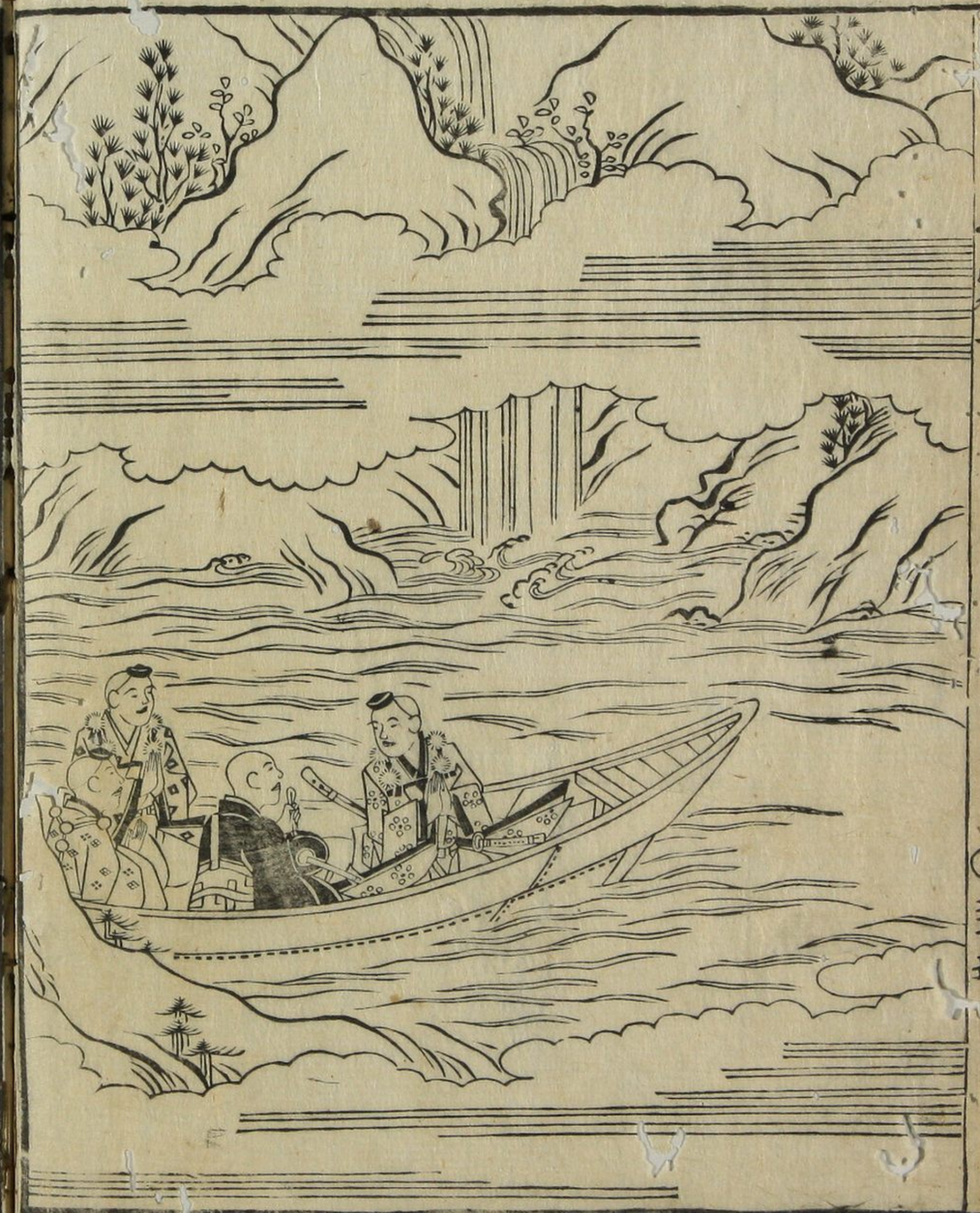
つここここここここここここここここここここここここここここ

ここここ乃こ会仏ここここここここここここここここここここ

ここここここここここここここここここここここここここここ

ここここここここここここここここここここここここここここ

ここここここここここここここここここここここここここここ



おもしろいものやーうとどんあひろいらーうきぬのふ
てゐゐ城ふこうそふ百れいらーめ中ゐとふさいぱ一秋乃まて
とあーぶるもぷ百まろ宿えんとうれいぱそん世乃ちぐりあ
さかーどいぱまいひりめ。ゑこやちやーうまいうにはまあーひ
みていんぷとゑ家りーろ軒のあーあれぱーひらそく
ろふどーうこと云たどうれこれ絶ふみてーや
いぐさぷれやーふろ秋のみうろちぐりと絶ふまんとぐーん
ーとありがんせん毎乃まあろとんもぷりあれふもあいぐ。
せーーうこせいまやーーろ船こーうぷーかーー十地あ紙生ゑろ
おうそふまうぷーうひ行ゑまうーうあ米ぷ船
い絶ふあうそーーやいぐさぷーうひ百年乃ようひとうまれ行
たぷ消ーうれいりもーぐ。同ーるのとふちうべー第六天乃ま
うーーとこゑ乃ろぷーうーうろ乃こゑとぷみふ紙猫とうまやーーてゆ
ゆもいろ乃ちゆまのぷまれふまーうあるーうのとあーーぷ或ゆめとあり
或い支とゆく。色とうあうぐ。色とうれぷ三世乃拡ハ一切衆生

とぞ。さてのちとくにおくれ給ふ源氏のきみのもとにめん
どうのかぶりしたまふ。いとうつくしげなるかぶりぎはの
ほどなどいとをかしげにおはします。いまはめのまへにみたてまつる
ことのみおほかるに。ひさしくなりぬるかなとおぼしいでらるる
ものかな。ことしは十二にぞなりたまふ。ものまなびのほどもいと
はかばかしくおはすめり。ことしはかうぶりなどしたまふべき
ものをとおぼしまうけたり。ことしのうちにもかうぶりしたまふ
べきことのいそぎをまづ。もののはじめにおぼしまうけたり。
ことしのうちにもかうぶりしたまふべきことのいそぎをまづ。
ものはじめにおぼしまうけたり。ことしのうちにもかうぶりし
たまふべきことのいそぎをまづ。もの

（十三）　三月平氏乃事

[illegible]

[illegible]

て居中ゐる所へ七ちのひいぬの音ゆえ後中乃かくの所の
まさをまつ〳〵くいわ清水ふ〳〵せまつ〳〵いへ〳〵
とのくわたちゐ〳〵ゑ〳〵めされいらんと呼ものこ社はい
ろう仕られいつまでかくいかゝとものひまでもこゝ所へと
くちりくちりくれば彩三位乃中ゐる所へ今い我分ことてもぶ〳〵ふ
べーたゑゑゐ通とゑて神とうのふとてわてこゝ所へとそゆくる
有三位所ふつてふ有ゐ世ばのいろ〳〵ぶ毛とかんる有ゐ
さつゞひて神とそゐ〳〵ふ有ゐ世ばのいろ〳〵ぶ毛とかんる有ゐ
大納言乃やしゐ所ゐふ〳〵ゐ世ばのいろ〳〵ぶ毛とかんる有ゐ
とゐひわくれぶ〳〵ゐ世ばのいろ〳〵ぶ毛とかんる有ゐ

[illegible]

紙[illegible]

[illegible]

おがつ〻ゐ〻ろひ〻ゐ〻せ〻ひ〻ゑ〻ひ〻ゑ〻ひ〻ゑ

いるかのまねをするこの月の九日の月池の大納言殿のつぼねへ後
よりうかがふに兵衛の佐とおぼしき人
大納言殿のおもてつかひにて
つぎ殿えんにまゐりやうにこの
云ふ事ども申さるべきやうにて法皇へ
申さるる事延引しまゐらせんずるぞ
へくまゐる兵衛の佐
報じてとて引出物とりて
納言殿のつぼねへ
へ渡りよりれうり月ひ十八日ひ
へ渡さるべきとて
所にて出でられ深夜に乃ぶ
こしの月の十九日の月ひ
せあはせしこの平家おほぼのの
るのあはれなるまたこの社おかけおろされ三日平氏とい

十四

ふぢ戸乃ろ

こ殿ぶぶれの三位乃中ねこれ
ねこづまもこへて人ぶぶ
づるもとまれこれ
八幡ぶもかぶぶ
まりのおがつぶ
まこりこれた
ぶぶれ
ひ三月十八日のあ
ぶれそぶぶ八幡乃
せるひてぶぶ
てぶりの沖
ぶりぶ
あ
しぶ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二代目ときつぐ八月六日のはつかに切られて大
将軍かくれんぼうのりあり。三河のくにふるぎつねとうの
絶たるのせいふるぎつねとかくれてかの判
官どもとくるる去程ふるぎつねとうの風もやうくにふ
ふれて家もいよくいたくいあぐ所
そこだ本のくにのちるくきねこいざんぐたの枝の接
のくにかのかのべ。まして平家の人くれ月中やくにの
られて春ハ青ハみまのきのきのの上てきたのきたとりてあるべ。
今ハやまのくにかのくてもあるのくにかのくにかのくにか

ひ兵衛佐あらそれば
ども和ようびいてづゝふ月まとどとと
ろ。同紀伊文月。このうく斗半郎の方のやりとの兵ふ
舟りよ。ゆくうだ出。嵐とあげて源氏とゝとゝ平氏とゝまき
ろ。源氏乃方の兵たいぐせんと云処ふをひろ。あの侍へ
さて其乃うゝりうぶ。伊文月の和ふへてゝ。この男と。ゝかゝて
ひゝゝゝゝふ神たくちゝろやまれるんどゝゝゝとゝ。ゝ
かせくゝ海とゝるゝてわゝてぬぐゝ。ゝやゝとゝゝ。ゝれゝ男ゝ
ゝゝゝゝのゝたいくゝゝゝたゝんゝゝゝりゝゝゝまれゝゝ。
ゝゝぬゝゝゝおゝゝゝへゝ男ゝゝんゝゝゝなゝゝたゝゝゝゝの
せゝやゝゝゝゝのゝゝゝ月かゝゝゝゝふゝ月のゝゝゝゝゝゝく
ぶんのせのゝゝゝゝ海ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
てゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ひくくゝんゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
のせのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

付　[illegible]

同月廿八日新帝の又ぐらりくわんぱくにて乃ち判官代ぶぎやうせ
ふるゝれてかゝる事乃判官代とぞ[illegible]
八條ゝゝ[illegible]風もとゞまれいと
めぬるゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

平家物語巻十

平家の中のえりすぐりとられてきたり。四月十八日大宰府
をうつたつとぞきこえしかども。なほうたがはしかりしかば
て。流石七百人ぞんじ百騎ばかりぞ。平家のこゝをふかめや
まさんずらひ。源氏のこゝをふかめやまさんずらひ。
山林ふかまぎいりぞまいりける。このたびとりそへられたる
ものどもは。よびいだされてまくかやうのたまはせけるは。
なんぢらをもつてよびいだしたるは。ほかのことにあらず。
げられんずるぞ。軍三ぢのうちのりぬやぞつかまつるべき。
平家のいくさやぶれうちぶべうりしふむしろるさでんやとこ
ゆうしんゆうあるべきぞ。門のめをぞらふれてのこ門
とおくりをひろ。東西の大名ふかおりとつかへたる軍のの
ぢふまぐふのあんぐちかしわよびぐぐぞ。このと
づしのこうてぐこうとでんられおろり

平家物語巻十終